

議員提出議案第4号

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

標記の議案を次のとおり、桑名市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和2年9月30日 提出

提出者	桑名市議会議員	松田正美
賛成者	同	渡邊清司
	同	満仲正次
	同	畑紀子
	同	石田正子
	同	伊藤研司

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

厚生労働省の「国民生活基礎調査」によると、「子どもの貧困率」は13.5%となり、子どものおよそ7人に1人が貧困状態にあると言える。特に、大人が1人の世帯の相対貧困率は48.1%と、大人が2人以上いる世帯の貧困率（10.7%）により著しく厳しい経済状況におかれている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業により、十分な栄養がとれていない子やICTを活用した学習に取り組めなかった子など家庭環境の違いが学力の格差に繋がっている実態が見えてきた。

子どもの貧困対策においては、子どもが生まれ育った家庭の経済状況にかかわらず、必要な教育支援、生活支援、親への就労支援等によって、夢と希望をもって健やかに成長できる環境整備を実現させる必要があり、その実現には教育に係る公的な支援が極めて重要である。

こうした課題を踏まえ、家庭での経済格差を教育の格差につなげることなく、全ての子どもたちの学ぶ機会を保障するため、国において子どもの貧困対策の推進と就学・修学保障制度の拡充を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月30日

桑名市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
財務大臣 様
文部科学大臣 様